

自治協ニュース

第2804号
発行者
八本松小学校区
住民自治協議会
H28. 8. 20

東広島市議会 地域センターで議会報告会 文教厚生関係で 八本松固有の問題も意見交換



市民に開かれた議会 実現のため

7月26日、東広島市議会は八本松地域センターで議会報告会を開催した。この報告会は、近年進んでいる市民の議会離れに歯止めをかけ議会の信頼回復のため今年から始まったもの。各委員会ごとに会場を変え行われている。

この日開かれた議会報告会は子育て支援をテーマに7名の文教厚生委員と八本松地域を中心とした18名の市民の参加で行われた。

委員から、子育て支援に関する議会活動が報告された後、集まった参加者から多くの意見が出され白熱した報告会となった。特に、八本松地域と関連するもの

では、八本松中央幼稚園と川上西部保育所の認定ことも園への移行等関連事業がスムーズに行われ八本松駅前土地区画整理事業が停滞しないよう総合的な対応が求められた。また、大山・宗吉・松風地域の子どもたちの通学路が降雨で頻繁に内水氾濫を起こしており、子どもたちへ危害を及ぼさないよう行政の迅速で適切な対応が求められた。

さらに、東広島市立美術館の移転理由と市民の意見を重視した新たな美術館の建設を求める等多くの問題点が提起された。いずれの問題も委員会を取り上げ市政に反映するよう対応すると回答された。

地震による家具転倒防止策の実施

独自の補助事業で器具設置を推進 八本松なみ地区

八本松南地区自主防災会は、7月末日地震による家具類転倒防止器具の設置を推進する事業を開始した。

この事業は、地域内の災害時要援護者の方や高齢者の方を対象に転倒防止器具の設置を支援するもので、八本松小学校区住民自治協議会の補助事業を活用し、

「設置の支援にあたたか横井自主防災会会長は、「地道な活動ですが自主防災では大変重要なことです。事業も継続しており、まだ未設置の方もぜひ設置していただきたい」と語った。

助事業を活用し、自主防災会が独自に取り組んでいる事業。

今回の実施件数は4戸で、6月12日に行われた自主防災会の研修会や地域の回覧で住民の皆さんに呼びかけていた。

事業の内容は、申込者に防災会スタッフが訪問し、適切な転倒防止器具を選定・購入し取付けるもの。設置費用は補助金一世帯600円を控除した器具代金のみ。



高さの高い家具は天井にポール式床にマット式器具を併用

設置された申込者の方は「急になつていました。これで安心して生活



高さの低い家具はL型金具で壁に固定